

感染症対策の徹底を！

新型コロナウイルスの新規感染者数が急激に増加しています。ご存じの通り、三重県では1月21日から2月13日まで、まん延防止等重点措置が適用されています。

保護者や地域の皆様には、新型コロナウイルス感染症対策について、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。今後も引き続き、基本的な感染症対策を徹底していただきますよう、改めてお願い致します。

学校でも、子どもたちの安心・安全を第一に考え、これまで通り感染症対策を徹底して工夫しながら教育活動を進めていきます。



よろしくお願いします

保護者の皆様には、毎朝の健康観察、検温、マスクの着用等、新型コロナウイルス感染症対策にご協力をいただきありがとうございます。学校では、感染拡大防止の観点から、始業前に子どもたちの健康状態について把握する必要があります。スマートフォン等で確実に入力していただきますようお願い致します。また、現在の感染状況から、亀山市教育委員会発出の「学校における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」が改訂されました。一部変更がありましたのでお知らせします。

- お子さんに、風邪症状や体調の変化があった場合はもちろんのこと、日頃の体調と比べて少しでもおかしいと思う症状があれば、できる限り早期に医療機関に相談するか、医療機関を受診してください。
- お子さんの同居家族に発熱等風邪症状が見られる場合は、登校を控えてください。家庭内でもマスクを着用したり、別室があれば家族とは別室で過ごしたりする等の感染対策をとってください。
- 混雑した場所や感染リスクが高い場所（密集、密閉、密接の1つでも当てはまる場所など）への外出や移動を避けてください。

なお、この対応は、今後の感染状況によって変更されることがあります。



昼生っ子集会をしました

1月26日に、昼生っ子集会をしました。新型コロナウイルス感染拡大状況から、全校で体育館に入るのはリスクが高いと考え、ZOOMで実施することにしました。

児童会の役員さんが放送室から「〇〇ライスと言え何?」「〇〇っ子と言え何?」「ドラえもんの道具と言え何?」といったクイズを出します。同じ答えをした人数が多い縦割り班が勝ちというゲームです。子どもたちは、自分のタブレットでロイロノートを使い、答えを提出箱に提出します。予め、答えが縦割り班別に集まるように設定されているので、どの班が同じ答えの人が多いか、教室の画面で確かめられます。これで、教室移動もせずに、縦割り班の一体感も感じられるというわけです。

ゲーム中も、楽しんでいる声や拍手が各教室から聞こえてきました。「おもしろかった」「またやりたい」という声も多く聞かれました。コロナ禍ならではの集会になりました。



四小交流もオンラインで...

例年、6年生が四小交流をしています。四小とは、亀山中学校区の4つの小規模校（白川小、神辺小、亀山南小、昼生小）のことです。6年生のときに交流をして、中学校進学への段差を少しでも取り除こうという目的があります。

昨年度からコロナの影響を受け、実施が見送られてきました。しかし、今回、「一度オンラインでやってみよう」ということで、神辺小がホストとなり、4校をオンラインでつないていただきました。それぞれの学校から、自己紹介や学校紹介、ダンスの動画などが送られ、画面を通してみんなで楽しむことができました。

